

近隣市の運賃改定事例

自治体名	改定年月日	改定内容		運賃改定前後の利用者数の推移						運賃改定の主な理由	その他
		改定前	改定後		H18	H19	H20		H26		
小平市	H19.5.25	100円	150円	利用者数 (人)	296,551	255,180	249,813	~	281,698	路線バスとの不公平感を軽減する。	○同時にルート変更を行った。 ○H20より子ども割引を導入。 ○利用者数は減少したものの、収支は改善した。
				基準年度比 (%)	100.00	86.05	84.24		94.99		
八王子市	H23.1.27	100円	100~200円 (距離別)	利用者数 (人)	174,912	179,966	163,143	~	172,217	財政負担が大きく、事業の継続が難しい。	○路線の新設を同時に行った。 ○同時に子ども、障がい者割引を導入。 ○路線新設による経費増とあわせても収支は若干改善した。
				基準年度比 (%)	100.00	102.89	93.27		98.46		
武蔵村山市	H25.4.1	100円	170円	利用者数 (人)	260,667	259,373	253,812			試験運賃として一時的に100円(均一)としていたものを、試験期間終了により170円(均一)とした。	○同時にルート再編を行った。 ○同時に子ども、障がい者割引を再導入。 ○ルート再編との関係で利用者数は大きく減少せず、収支は改善した。
				基準年度比 (%)	100.00	99.50	97.37				
西東京市	H25.8.1	100円	150円	利用者数 (人)	1,391,605	1,242,244	1,144,652			財政負担が大きく、利用者、非利用者間の公平性の観点から受益者負担を求めた。	○同時に高齢者用回数券と子ども、障がい者割引を導入。 ○利用者数は減少しているものの、収支は改善している。
				基準年度比 (%)	100.00	89.27	82.25				
東村山市	H26.6.1	100円	180円	利用者数 (人)	436,756	346,141	約330,000			路線バスとの運賃の格差を軽減する。 利用者、非利用者間の公平性を保つ。	○同時に子ども、障がい者割引を導入。 ○利用者数は減少しているものの、収支は改善している。
				基準年度比 (%)	100.00	79.25					
東大和市	H27.2.23	100円	180円	利用者数 (人)	131,263	131,659	28,990			路線バスとの整合性を確保する。 財政負担が大きい。	○同時に路線の新設を行った。 ○同時に子ども、障がい者割引を導入。 ○路線新設により経費が増え、全体として収支は若干悪化傾向にある。
				基準年度比 (%)	100.00	100.30					